



各位

東日本大震災被災住民支援プロジェクト 「きぼうときずな」趣意と寄付のお願い

2011年3月の東日本大震災では、地震・津波被害に加え、原発事故そしてこれに伴う風評被害が被災地とくに福島県住民に重くのしかかっています。NPO 日本臨床試験研究ユニットでは、聖路加看護大学（日野原重明理事長）のご協力を得て、2011年5月より、福島県精神保健福祉センター・福島県立医科大学神経精神医学講座のご指導の下、団体、個人からのご寄付を原資に、地域の保健所や関連施設に協力する形で復興に向けた被災住民支援を開始致しました。その具体的内容は、

- ・避難所・仮設住宅・在宅での医療・看護支援と心のケア
- ・現地看護実践等を通じた被災住民ニーズの把握、その行政への提供
- ・正しい放射線リスクについてなど、被災者に対する情報提供

等です。NPO 日本臨床研究支援ユニットでは、福島県内の相馬、いわき、郡山の3拠点に医療支援車（ペ・ヨンジュン様寄贈）を配置し、現地スタッフ・ボランティアの協力の下、継続的に医療者を派遣しており、情報提供・データ処理も含んだロジスティクス（交通・宿泊・資金）な活動を行っております。支援場所が避難所から仮設住宅、在宅へと訪問場所が変わっても、被災地からの求めに応じる形で派遣を継続し、さらに2013年からは復興庁の採択をうけた事業の実施でも被災地での医療活動に努めております。活動の詳細は専用のホームページまたはフェイスブック上で公開しております。

<http://kiboutokizuna.jp/index.html>

<https://www.facebook.com/kiboutokizuna>

震災後4年半を経て多くの支援組織が活動を縮小する中、“きぼうときずなプロジェクト”では、被災地が自立に至るまで支援を継続致したく、遂行に要する費用調達のため、寄付をお願いする次第です。本プロジェクトの運営は、このために組織した実行委員会が透明性をもって行い、会計については監査を実施し、その結果を逐次公表いたします。寄付振込み口座を裏面のように用意いたしましたが、NPO 日本臨床研究支援ユニットへの寄付も受け付けいたします。免税措置のある財団にも支援をお願いしており、そちらを通じてのご支援も受け付けたいと計画しております。

2015年11月1日

特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット

プロジェクト「きぼうときずな」代表

理事長 大橋 靖雄（東京大学名誉教授）

（福島県福島市出身）